

文化遺産防災国際フォーラム2008

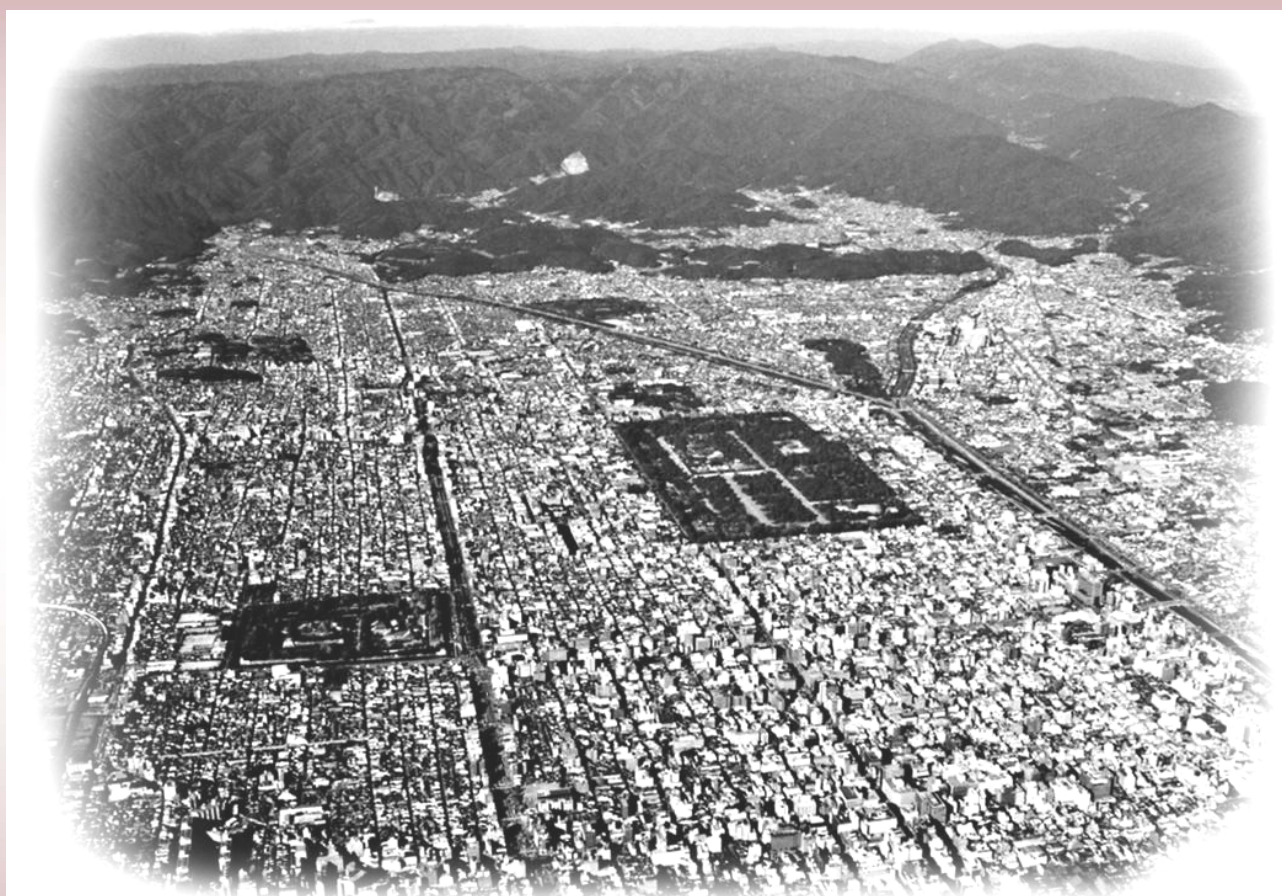
世界遺産「古都京都の文化財」保存とフォーラムユネスコ・ヘリテージ&ユニバーシティの課題

ユネスコチェア 文化遺産防災国際研修2008 成果発表

日時：2008年11月14日（開場13時、退場18時30分）

場所：ホテルグランビア京都 古今の間（5階）

入場無料・同時通訳あり・事前申込不要



プログラム

第1部（13:20-15:00）

世界遺産「古都京都の文化財」保存とフォーラムユネスコ・ヘリテージ&ユニバーシティの課題

基調講演：世界遺産「古都京都の文化財」保護のため、大学は何をすべきか

土岐憲三(立命館大学歴史都市防災研究センター長)

特別講演：フォーラムユネスコ・ヘリテージ&ユニバーシティ・プログラムによる世界遺産保護

Marielle Richon (ユネスコ世界遺産センター)

パネル・ディスカッション：世界遺産の持続可能な保護のための大学の役割

山崎正史(立命館大学)・日向進(京都工芸繊維大学)・仲隆祐(京都造形芸術大学)・益田兼房(立命館大学)

第2部（15:30-18:00）

ユネスコチェア 文化遺産防災国際研修2008 成果発表

問い合わせ先：立命館大学歴史都市防災研究センター dmuch@st.ritsumei.ac.jp

主催：文部科学省グローバルCOEプログラム「歴史都市を守る文化遺産防災学推進拠点」立命館大学歴史都市防災研究センター
ユネスコチェア文化遺産防災国際研修 学術支援国際団体：UNESCO（国連教育科学文化機関）・WHC（ユネスコ・世界遺産センター）・ICCROM（国際文化財保存修復研究センター）・ICOMOS（国際記念物遺跡会議）

本事業は、文部科学省グローバルCOEプログラム 立命館大学「歴史都市を守る『文化遺産防災』推進拠点」の一環です。